

大島管内の遺伝資源の収集・評価・保存

【研究概要】

大島の主要品目であるブバルディア等の遺伝・育種資源の収集・保存・評価を行い、優良系統の育成種の試験研究を行う。

- (1) ブバルディア交配系統の選抜では、第4期候補3系統のうち、二次選抜した2系統は、いずれも桃色の一重で、切り花長が長く、花もちが良好であり、培養も可能である。また、各系統でそれぞれ、花色の鮮やかさや特徴的な花色について高く評価されている。
- (2) ブバルディア新品種の開花特性およびウイルスフリー苗の実用性評価では、a)第1期3品種の冬期の開花については、母株およびシェード期間の違いにより品質および収量に差はみられなかった。ただし、最低気温4℃の管理条件では、低温により開花率の低下や葉の変色が発生し、収量と品質の低下が示唆された。b)第1期3品種の春期の開花については、培養由来の株と非培養由来の株で収量と形態的特性は同等と考えられる。また、春期の栽培におけるシェード期間は、「シルキーホワイト、クリアピンク」で7日、「パールピンク」で10日が適切であると示唆された。c)夏期の培養母株の奇形花発生を非培養と比べると、「サニーレッド、恋桜」では概ね差がなく、「スノーピンク」ではホルモン濃度高区で増加し、ホルモン濃度低区で低下した。シェード期間は、「サニーレッド、恋桜」で14日、「スノーピンク」で21日以上が適切であると示唆された。